

市議会だより

No.207

平成29年11月10日発行

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



第86回 日本学生陸上競技対校選手権大会
(9月8～10日 県営陸上競技場)



9月定例会初日の議場の様子(9月4日)

9月定例会 (9月4日～27日)

市長提出の議案12件、
報告9件を審議しました

↓ 主な議案はP2

↓ 審議結果はP10～11

請願2件、陳情1件を
審議しました

↓ 審議結果はP11

議員提出議案2件を
審議しました

↓ 主な議案はP2

↓ 審議結果はP11

議員23人が一般質問を
行いました

↓ 詳細はP4～9

↑ 福井で夢の9秒台達成! (写真上)

福井国体のプレ大会でもある日本学生陸上競技対校選手権大会で、東洋大学の桐生祥秀選手が、1000mで日本人初の9秒台となる「9秒98」を記録しました。

↑ 議員も国体を応援! (写真下)

福井市議会では、来年開催される福井国体・障害者スポーツ大会に向けて機運を盛り上げるため、9月定例会の本会議や委員会などで、国体応援ポロシャツを着用しました。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10ページに掲載しています。

平成29年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で1億1,556万5,000円を増額するもので、補正後の一般会計予算額は、1,093億1,462万7,000円となります。

○一般会計補正予算

北陸新幹線福井開業に向け、福井駅部の都市施設を整備する「北陸新幹線福井駅都市施設整備事業」、北陸新幹線沿線地域の環境整備を行う「北陸新幹線公共施設等整備事業」、女性活躍推進等に対応した住民票等の記載事項の充実を図るための「住民基本台帳システム改修事業」、中核市への移行に伴い必要となる大気汚染常時監視に係るシステムの改修を行う「大気汚染常時監視テレメータシステム改修事業」、商業施設において、高齢者が買い物をしやすい環境の整備や利便性向

人事案件

○人権擁護委員

平成29年9月30日に任期満了となる栗波昭文氏、今富廣子氏、加藤三重子氏、横山満之氏、並びに12月31日に任期満了となる杉本速夫氏を引き続き同委員候補者に推薦し、9月30日に任期満了となる委員の後任として、松下巧氏を候補者に推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案(議員提出議案)

意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 「全国森林環境税」の創設を求める意見書

決算特別委員会を設置しました

平成28年度各会計(一般・特別・企業)決算等について審査するため、10人で構成する決算特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。

【委員構成】

◎(委員長)		○(副委員長)	
谷本 忠士	吉田 琴一	瀧波 滋	石丸 浜夫
青木 幹雄	泉 和弥	堀江 廣海	田中 義乃
後藤 裕幸		池上 優徳	

(◎は委員長、○は副委員長)

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。(日程順に掲載)

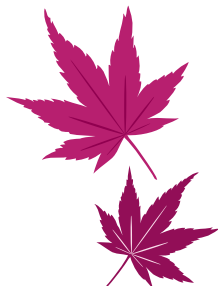
総務委員会

《工事請負契約の変更(福井市庁舎別館耐震改修工事)》

問 今回契約の変更が必要となった大講堂の天井梁のひび割れ箇所については、設計時の調査では予測できなかったのか。また、設計時にはわからず、工事途中で新たに対応が必要になった場合は、契約を変更して対応するという当初の

契約になっているのか。

答 福井市庁舎別館耐震改修工事を行っていることから、フロアや漆喰の下のひび割れの程度は、調査の時点では予測が難しかったと考えている。また、工事途中で新たに対応が必要になった場合は、その都度契約を変更し進めるという契約になっている。



《地方財政の充実・強化を求める意見書提出》

市税の伸び悩みが心配される中で、市民ニーズの拡大や地方への権限移譲に見合う財源が確保されるのかという懸念がある。また、地方交付税の算定においては、地方に効率化を求めるだけでなく、それぞれの自治体の現状を踏まえることを国に求めるべきであることから、採択すべきとの意見が出された。

建設委員会

《この国広域事務組合の解散並びに解散に伴う財産処分及び事務の承継》

問 この国広域事務組合のケーブルテレビ事業及びインターネット事業の福井ケーブルテレビ株式会社への移譲に伴い、福井市の財政負担はあるのか。

答 事業の移譲に伴い、組合から福井ケーブルテレビ株式会社へ最大で2億6,125万2,000円の事業負担金を支払うこととなるが、組合が単独で支払うことのできる金額

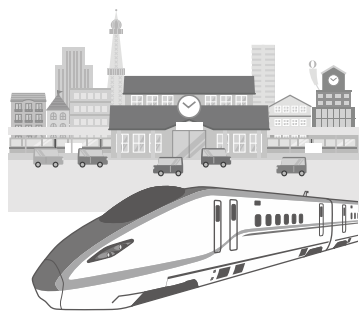
であり、福井市に新たな財政負担は発生しない。

《北陸新幹線福井駅都市施設整備事業》

問 都市施設整備に係る概算事業費約15億6,000万円の内訳は。

答 主な事業費は、施設本体の建設費として約12億円、雨水排水管や下水排水管などの埋設管移設費として約1億3,000万円を要する。また、財源については、国および県に要望して補助を受けたいと考えており、負担割合は国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1を予定している。

要望 公金が使われることとなるため、内容を精査し、妥当な費用で事業を進めてほしい。



経済企業委員会

《農業振興に関すること》

平成30年産以降の生産調整について本市の方向性を示してほしい。また、本市の学校給食を市内産や県内産の食材だけで賄うことは困難なので、量の確保のためにも、生産者やJAと協議すべきであることから、採択すべきとの意見が出された。

《共同店舗高齢者等買い物促進支援事業》

問 事業の対象となる店舗はどのようなものか。

答 ワンストップサービスをを行うことを目的として、中小の小売業者が集まり、一つの大きな店舗形態を形成している共同店舗である。

問 今回予算計上した経緯は。また、今後のさらなる事業申請には、どのように対応していくのか。

答 この事業は県の補助制度を活用するものであり、今般、市内2つの共同店舗について事業内容が具体化したことを受けて予算計上した。今後、

ほかの共同店舗からの申請があれば、その都度対応していく。

《テキスタイルマテリアル・グローアッププロジェクト》

問 産学官金のネットワークを形成し、研究段階から資金計画や販路の開拓までをトータルで支援していくとのことだが、誰が中心となって取り組んでいくのか。

答 市が、産学官金のネットワークの中心となり取り組んでいく。

教育民生委員会

《工事請負契約の締結（福井市民福祉会館解体工事）》

問 解体工事は、隣接する文化会館に影響はないのか。

答 文化会館の利用には支障がないように工事を進めていく。

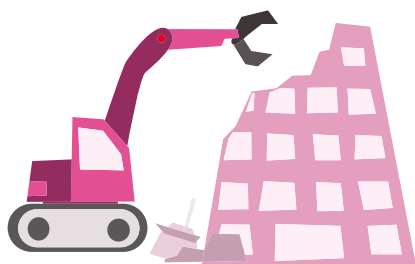
問 周辺住民への説明はどのように行うのか。

答 半径40メートル内にある21軒の建物所有者に対しては、昨年度、事前調査にあわせて説明を行っており、議決後は周辺の自治会を対象を広げ

て説明会を実施する。

《福井市白蒲町・笹谷町に計画されている管理型産業廃棄物最終処分場建設に対する周辺住民へのさらなる意見聴取、説明責任を果たすことを求める意見書提出》

住民の不安を払拭するため説明を県に求めるために採択すべきとの意見がある一方、これまでも周辺住民からの要望に応じて、県に説明を求めてきており、今後は動向を注視すべきであること、また、事前審査が終了し、すでに事業者から許可申請が出された現段階で、意見書を提出するのは混乱を招く恐れがあることから、採択とすべきとの意見が出された。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、9月11日から13日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。
(敬称略)

<p>① 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 福井市文化会館について 2 下水道事業について 3 学校の統廃合について</p>	<p>② 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 福井市文化会館の整備について 2 市内各所におけるバリアフリー対策について 3 福井市教育振興基本計画について 4 インバウンドと観光戦略について</p>	<p>③ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 災害対策とその対応について 2 福井フェニックスまつり期間中のイベント開催時におけるヒゲ線運行について</p>
<p>④ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 福井市文化会館の整備について 2 マイナンバーカードについて 3 防災訓練について 4 公園の整備・管理について</p>	<p>⑤ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 英語教育について 2 ふるさと納税について</p>	<p>⑥ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <p>1 住民基本台帳ネットワークシステムと個人番号カードについて 2 本市のこれからのシティープロモーションについて</p>
<p>⑦ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 不登校児童・生徒等への対応について 2 農地中間管理機構(農地集積バンク)について 3 6次産業化等の取り組みについて</p>	<p>⑧ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 国民健康保険事業の県単位化と市民の命を守る施策について 2 ヒバクシャ国際署名と核兵器禁止条約について 3 水道料金・下水道使用料の値上げについて 4 福井市白滝町・笹谷町に計画されている産業廃棄物最終処分場について</p>	<p>⑨ 伊藤 洋一 (志政会)</p> <p>1 下水道ストックマネジメントについて</p>
<p>⑩ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 安倍首相による9条改憲と国際情勢について 2 教員の多忙化解消の取り組みと県立高校入試改革における英語検定による加点について 3 子どもの健康を守る施策拡充について 4 福井駅西口の再開発について</p>	<p>⑪ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 本市の公民館の運営について</p>	<p>⑫ 島川 由美子 (公明党)</p> <p>1 防災・減災対策について 2 新しい地域包括支援体制について 3 健康づくり支援について</p>
<p>⑬ 後藤 裕幸 (志政会)</p> <p>1 市施設入館料等の70歳以上の無料化について 2 大型事業の推進について</p>	<p>⑭ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <p>1 妊婦、不妊症、不育症に対する支援について 2 U・Iターン促進について 3 中核市移行について 4 ゆるキャラグランプリ2017について</p>	<p>⑮ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 福井市行財政改革指針について</p>
<p>⑯ 近藤 實 (志政会)※</p> <p>1 ジャパンエキスポ・パリ出展と観光誘客について 2 残業の削減、退庁時間について 3 ラスパイレス指数について 4 水道料金改定について 5 下水道使用料改定について</p>	<p>⑰ 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 本市の教育について</p>	<p>⑱ 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 中核市移行について 2 食の安心・安全について 3 空き家問題について</p>
<p>⑲ 青木 幹雄 (志政会)</p> <p>1 本市の重要要望について</p>	<p>⑳ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 福井市文化会館整備基本構想について 2 本市の広報事業について</p>	<p>㉑ 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 福井駅周辺のまちづくりについて 2 豪雨災害対策について</p>
<p>㉒ 加藤 貞信 (志政会)</p> <p>1 福井駅西口周辺での再開発について 2 北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対する本市の対応について 3 福井しあわせ元気国体競技別プレ大会について</p>	<p>㉓ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 地域の特色を生かした魅力的で活力のあるまちづくりについて 2 保幼小連携について 3 福井市英霊顕彰奉賛会について</p>	

※近藤實議員は、平成29年10月18日に志政会から青空の会に会派異動しています。

一般質問要旨



みながわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

文化会館建設について

質問

福井市文化会館の建設について、移転した場合の現在の跡地利用についての所見は。

また、東公園への移転を考えているようだが、課題は。さらに、中核市として2,000席ほど確保すべきと考えるが、所見は。

回答

移転建て替えが決定した場合の跡地は、公共的な利用ができるよう努める。

また、東公園に移転する場合は、JR福井駅からの歩行者動線の環境整備や、公園との一体的な空間整備などが課題と考えている。

さらに、ホールの席数については、全国規模の大会やフォーラムなどにも対応できるように2,000席規模も視野に入れながら協議を進める。



みずしま ひであき

水島 秀晃 議員

志政会

インバウンドと観光戦略について

質問

9月2日にダイヤモンド・プリンセス号が敦賀港に寄港したが、その際に福井市を訪れた乗客数と福井市の取り組みは。

回答

ダイヤモンド・プリンセス号には、オーストラリア人やアメリカ人など2,000人を超える外国人観光客が乗船しており、そのうち117人が、オプシヨナルツアーで一乗谷朝倉氏遺跡を訪れた。その際に、福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」と本市職員によるお出迎えを行うとともに、外国語表記パンフレットと記念品を配布し、福井市の観光PRを行った。



ほりかわ ひでき

堀川 秀樹 議員

市民クラブ

防災対策とその対応について

質問

8月25日の避難勧告により、みやま保育園の園児が美山公民館に避難したが、状況的にはより近い美山中学校校舎の2階、3階の空き教室で受け入れをすべきではなかったか。

回答

みやま保育園は、美山中学校から体育館を開放するとの返答を受け、体育館と美山公民館とを比較し、避難により不安定になっている子どもは、広い体育館よりも公民館の和室の方が落ち着いて過ごせること、また、当時は土砂災害の避難勧告であるため、1階の体育館より2階の公民館和室のほうが安全であるとの判断から、美山公民館に避難を決めた。災害時にはあらゆる状況を総合的に勘案し、より安全な場所への避難が重要であることから、今回の対応は適切だったと考えている。



すこう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

公園の整備・管理について

質問

ほとんど使われていない公園があちこちに見られるが、地域住民の方とよく話し合っており、いろいろな工夫ができるのではないか。

また、人が集まる地域コミュニティの核として再生させるための今後の公園のあり方についての見解は。

回答

公園は、子どもの遊び場や夏祭り、災害時の避難場所など、地域住民にとって身近で重要な施設であるので、まちづくり計画にあたっては、地域住民や民間事業者と行政が連携し、都市施設としての公園の価値を高めていく。今後は、市民のニーズを的確に捉え、安全安心に利用できる地域の財産となるような公園づくりを進める。



ふくの だいすけ

福野 大輔 議員

一真会

県立高校入試における英検加点制度について

質問

現在の中学校3年生が受験する来年3月の県立高校入試における英検加点制度は、塾に通えない生徒やその保護者にとっては不公平な制度であり、平等性の観点において、県立高校入試としては不適切であると考えるが、本市教育委員会としての見解は。

回答

県は、全ての中学校3年生に対する英検検定料の全額補助を年1回から年3回に拡大することを来年度予算に要求するほか、今年度は9月から、中学校3年生を対象に、県の指導主事や退職教員等が講師となり、3級、準2級、2級受検のための英検講座を開催している。本市としても、県の施策を最大限活用し、子どもたちにとって不公平にならないよう、今後も各市町と連携しながら、県と対応を協議していく。



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

志政会

シティープロモーション
について

質問

本市は東京事務所を開設し、首都圏において積極的にシティープロモーション活動を展開しているが、近年の成果としてどのようなものがあるか。

また、今後は戦略的なシティープロモーション活動が必要と考えるが、どのように進めていく予定か。

回答

今年度立ち上げた「福井市応援隊」の会員数は376人で、当初の目標を上回っている。

また、インバウンド観光では、足羽川の桜並木散策や工場体験などを取り入れた、台湾からの旅行商品の造成に繋がるなどの成果があった。

今後は、国内外を問わず積極的なシティープロモーション活動を行うとともに、福井市観光大使などの協力も得ながら総力を挙げて、本市の強みと魅力を発信していく。



よしだ きんいち

吉田 琴一 議員

市民クラブ

不登校児童・生徒への
対応について

質問

いじめによって不登校になった過去3年間の児童・生徒数とその対応策は。

また、年間の不登校児童・生徒数とその対応策は。

回答

いじめが直接の原因である不登校は、過去3年間報告を受けていない。いじめと思われる事実が起った場合には、事実確認を行った上で、いじめ対策委員会を開き、関係者や保護者への対応に当たっている。

また、不登校の児童・生徒数について、平成27年度の30日以上の長期欠席者数は、小学校で53人、中学校で195人であった。今後も、相談支援体制の充実を図り、スクールカウンセラー等の専門家と連携し、家庭訪問や家庭への適切な支援に努めていく。



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

水道料金・下水道使用
料の値上げを抑えよ

質問

福井市は水道料金・下水道使用料を来年度約2割、そして5年後さらに2割近く、あわせて約4割も値上げする計画である。市民や地域の業者にとつては本当に負担が重い。一般会計の繰り出しなどで値上げを防ぐべきと考えるがどうか。

回答

水道事業を行う公営企業は、公共サービスの対価である料金収入で維持されるものであり、独立採算を原則としているが、消火栓の経費等は一般会計から繰り入れている。

また、下水道事業では、「雨水公費・汚水私費の原則」のもと、雨水処理に要する経費の全額を一般会計が負担しており、受益者負担の公平性の観点から、公費によるさらなる補填は考えていない。



いとう よういち

伊藤 洋一 議員

志政会

下水道ストックマネジメント
について

質問

下水道は重要な社会インフラである。下水道施設の不具合を未然に防止し、施設的安全性を維持しながら、合理的かつ効率的に施設を維持管理することが必要であり、一昨年の下水道法改正を勘案した下水道ストックマネジメントに今後どう取り組むのか。

回答

下水道ストックマネジメント計画の策定に向け、平成28年度から、下水道施設の既存データベースの再整理や、将来的な改築事業費の算定などの基礎的な作業に着手している。

基礎的な作業が完了する管路について、今年度から、リスク評価や優先順位付けの考え方を整理し、点検・調査計画および修繕・改築計画の策定を進めていく。



にしむら きみこ

西村 公子 議員

日本共産党議員団

教員の多忙化解消の具
体的な取り組みを急いで

質問

昨年の県教育委員会による出勤時刻調査で、中学校では過労死ラインという状況であったが、本市ではその平均を超える学校が小・中学校それぞれ4校ずつあった。教員配置を増やすこと、病気休暇の代替教員を2週間以内に配置すること、事務量の負担軽減策についての考えは。

回答

教職員は、法律に基づいて配分されているため、増やすことはできないが、今後も国や県に増員を要望する。

病気休暇等の代替は、全体的に人材が不足しており、配置が遅れている学校もある。近隣市町との情報交換もしながら、一日でも早い人材確保に努める。

事務の負担軽減は、書類等の電子化や非常勤職員の任用により進めており、今後も積極的な業務改善に努める。



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

本市の公民館の運営について

質問

現在自治体で雇用されている非正規職員は、地方公務員法および地方自治法の改正により、2020年4月から「会計年度任用職員」として位置づけられることとなるが、今後公民館に勤務する職員の任用はどのように変わるのか。

回答

現時点では、総務省から会計年度任用職員制度の詳細が示されていないため、その制度に沿った任用要件については今後研究する必要がある。

ただし、新しい制度では、厳密に年度単位の任用しかできないことになると、職員の士気に影響することも考えられるため、今後、国の動向を注視し、状況に応じて国など関係機関に働きかけていきたい。



しまかわ ゆみこ

島川 由美子 議員

公明党

防災・減災対策について

質問

災害発生時、情報を入力することが困難な外国人等が、情報難民に陥らないよう支援するための仕組みづくりと、避難所環境の整備が必要と考えるがどうか。

また、119番通報や救急現場における意思の疎通、情報の共有等はどのようになっているのか。

回答

災害発生後、ふくい市民国際交流協会に多言語支援センターの設置を要請することとしている。避難所で円滑に情報を提供するため、多言語支援センターとの役割分担や連携について今後研究していく。

また、119番通報は、平成30年4月から、5か国語対応の同時通訳サービスが導入され、救急搬送の場面では、絵表示と外国語の説明文が書かれたカードを傷病者に提示して対応している。



ごとう ひろゆき

後藤 裕幸 議員

志政会

市施設入館料等の70歳以上の無料化について

質問

本市の観光・文化施設入館料を無料で利用している高齢者の割合は。

また、その人たちが入館料を支払った場合の財政に対する影響額はどのくらいか。

回答

例えば一乗谷朝倉氏遺跡復原町並では、平成28年度の利用者119,742人のうち、入館料が無料である70歳以上の高齢者は、全体の約2割となる24,494人であった。

仮に、その高齢者が一般料金210円を払うとした場合、想定される収入額は約500万円となる。

このように、無料で入館された高齢者の方々が一般料金を支払ったとして試算すると、観光・文化施設全体では約2,600万円の収入増が想定される。



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

U・ターン促進について

質問

毎年、約3,000人の若者が県外に進学し、Uターン者は1,000人程度で、若年人口が県外転出超過の現状にある。

大学生を対象に、U・ターンサマーカーンプを行っているが、福井に興味を持ってもらうため、高校生も対象にしてはどうか。

回答

今年度のU・ターンサマーカーンプでは、参加者から「高校生版サマーカーンプや普通科の生徒の職場体験などのアイデアが提案されたが、高校のカリキュラムにどう組み込んでいくかなどの課題があると考えている。

将来のUターン就職を考慮してもらうためには、福井で生活している間に、福井の企業や福井で暮らすメリットを十分に知ってもらうことがとても大切であると考えており、今後も適切に取り組みを進める。



はった いちいち

八田 一以 議員

一真会

福井市行財政改革指針について

質問

平成27年度から28年度の福井市行財政改革の成果に関する、市自身の評価には納得できない。また、教育行政の事務管理・組織運営体制の効率化の成果については説明も報告もない。しかし、福井市の行財政改革は実は誇れる実績を挙げている。福井市行財政改革指針(平成29年度から33年度取組計画)の目標必達を目指す決意を伺いたい。

回答

今後、時代の変化に対応できる組織体制の構築、「市民ニーズを捉えた満足度の高い行政サービスの提供」、「効率的で持続可能な行財政運営の推進」の方向性のもと、行財政改革を進める。

また、福井市行財政改革推進本部が中心となつて、外部有識者や議員の意見等を伺いながら、質の高い行政経営を実現するために全力で取り組んでいく。



こんどう みのり
近藤 實 議員
志政会

ラスパイルス指数について

質問

福井市の1人当たりの給与費は年間で635万7,000円、金沢市は607万5,000円である。また、福井市のラスパイルス指数は101.2、金沢市は99.4である。今後の目標として1人当たりの給与費を600万円程度、ラスパイルス指数を99.5程度にしてはどうか。

回答

これまで人事院勧告をはじめ、国、県の動向を見ながら給与制度を運用してきた。ラスパイルス指数については、国や各地方自治体における昇任の仕組みなど、それぞれに人事制度等が異なることから、数値のみで単純に比較することは難しい面もある。しかし、国の示す重要な指標であることから、今後も指標の動向を注視しながら、さらなる給与制度の適正化を図っていく。



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

本市の理数教育について

質問

今後、日本の科学技術力が急速に減退するとの専門家の意見がある中、第4次産業革命を迎える子どもたちが、社会の中で生き生きと活躍するために、また、我が国の国力を維持するためにも理数教育の強化が必須だと思いが、どう考えるか。

回答

理数教育の強化は、急速に変化するこれからの世の中で、子どもたちの論理的思考力や統合的・発展的に処理する力の育成につながる重要な取り組みであると考えている。理数グランプリ等の県の取り組みも活用しながら、より一層の充実を図っていく。その上で、すべての教科をバランス良く強化しつつ、個人の能力や興味関心に応じた指導も充実させていく。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
一真会

福井の食の安全・安心について

質問

最近、食中毒や食品関連の事故が多発し、食品の安全と安心に対する信頼が失われている。

本市においては、来年の福井国体や北陸新幹線福井開業など、多くの人が福井を訪れ、福井の食を知ってもらえる絶好の機会が近づいており、食によるおもてなしや食の魅力発信などの基本となる食の安全・安心と信頼の確保に向けた施策の一層の強化、充実が必要だと考えるが、市の考えは。

回答

本市が平成31年4月に中核市に移行した後は、飲食店の営業許可や食中毒予防等の食品の安全性を確保する食品衛生の業務を新たに担うことになるため、その機会を捉え福井の食の安全・安心に対する基本方針の策定を検討する。



あおき みきお
青木 幹雄 議員
志政会

重要要望について

質問

毎年7月、国、県に対し、本市の施策実現のための要望を行っている。本年度の重要要望事項として、地域経済活性化の視点で、観光振興と未来につながる農林水産業に対する環境支援が掲げられているが、その成果と手ごたえは。

回答

観光振興については、県と連携した取り組みとして、北陸新幹線福井開業に向けた出向宣伝や営業活動を昨年度は東京をはじめ合計11回行ったほか、平成33年度の一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の開館に向けて整備を進めている。

農林水産業については、これまでの要望に対する支援によって、福井市農業活性化プランや福井市林業水産業プランに掲げる指標に対する進捗はおおむね順調である。



たきなみ しげる
瀧波 滋 議員
志政会

本市の広報事業について

質問

福井市行政チャンネル「ふくチャンネル」や市の広報紙「広報ふくい」の取り組み、利活用は今後どのように進めていくのか。

回答

ふくチャンネルでは10月から、視覚に障害がある方が視聴しやすいよう、音声読み上げが可能な文字放送システムを導入するほか、市からの情報を知りたいときに入手できるデータ放送システムを導入する。さらに、市民にかかわる重大情報を迅速に配信するため、全国瞬時警報システムなどの緊急情報の自動配信ができるよう準備を進めている。

広報ふくいは、来年3月10日号をもって1500号を迎える。1500号では、特集記事に加え、読者プレゼントなども検討していく。



いまむら しんかす

今村 辰和 議員

一真会

福井駅周辺のまちづくりについて

質問

福井駅東西の一体的なにぎわいを創出するためには、誘客施設が連携し、まち歩きが連続するような取り組みが必要だと考える。

そのためには、今後建設が進められる北陸新幹線の高架下部分に、商業施設を配置するようJR西日本などの関係機関に要望すべきと考えるが、市の考えは。

回答

新幹線高架下の設計については、建設主体の鉄道・運輸機構とJR西日本等が協議しながら進めている。アオッサからハピリン、西武福井店までの連続したにぎわいを形成するために、高架下自由通路沿いに商業施設を配置することは、必要なことと考えるため、関係機関に申し入れていく。



かとう さだのぶ

加藤 貞信 議員

志政会

北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対する本市の対応について

質問

8月29日の北朝鮮によるミサイル発射に対し、市はどのような対応を取ったのか。また、市としてミサイル発射に対する避難訓練等を実施する計画はあるのか。

回答

8月の北朝鮮のミサイル発射の際には、福井県は全国瞬時警報システムの鳴動する地域ではなかったが、ミサイル発射情報の入手後、速やかに担当部局の職員が登庁し、国や県などからの情報収集を行った。

また、福井県が対象地域となった場合、公共施設の被害状況の確認が必要であることから、全庁的な初動行動や参集体制などについて確認した。

北朝鮮のミサイルの発射に備えて、国、県と相談しながら連携した避難訓練を本年度中に実施する予定である。



いすみ かずや

泉 和弥 議員

一真会

地域の特色を生かした魅力的で活力のあるまちづくりについて

質問

ライフスタイルの変化によって、田舎暮らしに魅力を感じる方や、農業に興味を持つ方がいるが、市街化区域内の未利用箇所を市街化区域から外し、市街化調整区域の別の場所地域活性化につながる基準の見直しはできないか。

回答

平成25年度に改定された福井都市計画区域マスタープランにおいて、現在の市街化区域を維持することとしている。農村地域における集落の維持については、本市の活力のあるまちづくりを進めていく上でも重要であると捉えており、既存集落内の適切な土地利用が図られるよう、社会情勢の変化を踏まえつつ関係部局との調整を密に行いながら、適宜、基準の見直しについても検討していく。

予算特別委員会

各会派における主な質疑内容を紹介します。

一真会

堀江 廣海 谷本 忠士
田中 義乃 八田 一以
福野 大輔

志政会

青木 幹雄 野嶋 祐記
後藤 裕幸 水島 秀晃
近藤 實

ふるさと教育

若者の故郷を愛する心やふるさと回帰に対し、教育はどのような役割を果たせると考えているか。また、そのための具体的な取り組みは何か。

答

小・中学生の間に、自分の住む地域での良い思い出をたくさん持つことが大切だと考えている。具体的には、小学校では地域にある企業や名所の社会見学、中学校では職場体験学習に取り組んでいるほか、地域行事にも積極的に参加している。各発達段階に応じた地域との関わりを持ち、地域によさをしっかりと学習する機会を充実させている。

福井市のコンベンション誘致の現状と展望

大きなコンベンションを誘致するために、県との連携が必要と考えるが、どのような取り組みを行っているのか。

答

誘致体制強化のために、県関係者で構成される福井県コンベンション誘致促進会議において情報を共有しているほか、コンベンション主催者への開催助成事業にも取り組んでいる。平成31年度に本市で開催される「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」は、県と市が協力して誘致に取り組んだ成果であると考えている。今後とも、県と市、福井観光コンベンションビューローが連携してコンベンション誘致に取り組み、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげていく。



市民クラブ

堀川 秀樹 玉村 正人
村田 耕一

○教職員の働き方改革

問 中央教育審議会からの緊急提言を受け、本市教育委員会としてどのような対策を考えているのか。

答 教職員の多忙化解消のため、ワーキング会議をこれまで3回開催し、検討を重ねた結果、2学期が始まる10月から市内全小・中学校において、全教職員が遅くとも18時までには退勤できるように週1回のノー残業デーを設定する。

また、来年度以降、8月14日から16日までのお盆3日間を学校の閉鎖期間と定め、全教職員が休みを取れるように福井市立学校管理規則を改正する。

公明党

菅生 敬一

○防災センター

問 今年度から、防災センターの所管が危機管理室から消防局へと移管されたが、どのようなメリットがあるのか。

答 これまで防災センターが行ってきたきめ細かな案内や指導に加えて、火災や災害

現場などでの活動経験を有する消防職員が携わることによって、より説得力がある防火・防災指導が可能となった。また、全国の消防本部のネットワークを活用することで、最新の災害情報や防火・防災情報を入力し、研修や指導に速やかにフィードバックできるようになったことが、大きなメリットであると考えている。

日本共産党議員団

西村 公子

○こしの国広域事務組合の解散と民間移譲

問 市として事業者には、現在の減免制度を継続して適用することを求めるべきと考えるがどうか。

答 こしの国広域事務組合から福井ケーブルテレビ株式会社に移譲するにあたり、両者の協議において、現在、同社が対象エリア全域で設けている割引制度を適用することとしていること、また、同社が対象エリアとしているあわら市、坂井市などにおいても、行政から事業者には、現在実施している割引制度以上の減免等を求めていることから、同社が実施している割引制度を尊重したいと考えている。

議案等の審議結果

(9月定例会)

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第 65 号議案	平成29年度福井市一般会計補正予算	9月27日 原案可決	●
第 66 号議案	福井市議会議員及び福井市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について	〃 〃	
第 67 号議案	工事請負契約の締結について(福井市民福祉会館解体工事)	〃 〃	●
第 68 号議案	工事請負契約の変更について(福井市庁舎別館耐震改修工事)	〃 〃	
第 69 号議案	市道の路線の廃止について	〃 〃	
第 70 号議案	市道の路線の認定について	〃 〃	
第 71 号議案	町の区域の変更について	〃 〃	
第 72 号議案	こしの国広域事務組合の解散並びに解散に伴う財産処分及び事務の承継について	〃 〃	●
第 73 号議案	平成28年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	〃 継続審査	
第 74 号議案	平成28年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃 〃	
第 75 号議案	平成28年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃 〃	
第 76 号議案	平成28年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃 〃	
第 26 号報告	債権放棄の報告について	9月4日 受理	
第 27 号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴訟の和解について)	〃 〃	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第 28 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の平成28年度決算に関する報告について	9月4日	受理	
第 29 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の平成29年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第 30 号報告	まちづくり福井株式会社の平成28年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 31 号報告	まちづくり福井株式会社の平成29年度事業計画に関する報告について	〃	〃	
第 32 号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの平成28年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 33 号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの平成29年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第 34 号報告	平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月27日	〃	
市会案第13号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	〃	原案可決	
市会案第14号	「全国森林環境税」の創設を求める意見書について	〃	〃	●

請願・陳情の審議結果

(9月定例会)

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
請願第 11 号	福井市白滝町・笹谷町に計画されている管理型産業廃棄物最終処分場建設に対する周辺住民へのさらなる意見聴取、説明責任を果たすことを求める意見書提出について	9月27日	不採択	●
請願第 12 号	農業振興に関することについて	〃	採択	
陳情第 8 号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	〃	〃	

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対

※原則議長(奥島 光晴)は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議結果	一真会										志政会										市民クラブ					公明党		日本共産党議員団					
		皆川 信正	見谷 喜代三	今村 辰和	堀江 廣海	奥島 光晴	谷本 忠士	泉 和弥	田中 義乃	八田 一以	池上 優徳	福野 大輔	加藤 貞信	石丸 浜夫	青木 幹雄	野嶋 祐記	伊藤 洋一	藤田 諭	後藤 裕幸	水島 秀晃	瀧波 滋	近藤 實	吉田 琴一	堀川 秀樹	中村 綾菜	玉村 正人	片矢 修一	村田 耕一	下畑 健二	島川 由美子	菅生 敬一	西村 公子	鈴木 正樹	
第 65 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 67 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 72 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
市会案第14号	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
請願第 11 号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	

議会日誌 (平成29年7～9月)

7月5日	全国市議会議長会第208回理事会(東京都)
10日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(大阪市)
14日	議会運営委員会
18日	日本海六県港湾都市議会協議会総会(新潟市)
20日	全国広域連携市議会協議会正副会長・監事・相談役会議(東京都)
27日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(東京都)
31日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第169回定例会(あわら市)
8月2日	議会運営委員会
10日	福井県市議会議長会定期総会
21日	福井県市議会議長会県要望活動(県庁)
28日	議員全員協議会、議会運営委員会
31日	北信越市議会議長会理事会(金沢市)

9月定例会

9月4日	本会議
5日	議会運営委員会
11日	本会議(一般質問)
12日	本会議(一般質問)
13日	本会議(一般質問)
14日	総務委員会、建設委員会
15日	教育民生委員会、経済企業委員会
21日	予算特別委員会
22日	予算特別委員会
25日	議会運営委員会
27日	議員全員協議会、本会議

編集後記



9月定例会では、23人の議員が一般質問を行い、基本構想・基本計画策定委員会で検討中の文化会館の整備、市民生活に関わる下水道使用料の改定、教育に関する問題などについて、活発な議論が交わされました。

また、会期中には、来年の福井国体のプレ大会を兼ねた「第86回日本学生陸上競技対校選手権大会」が県営陸上競技場で開催されました。桐生選手が期待に見事応え、100m[9秒98]の日本記録を達成した感激と余韻を保ちながら、市民の皆様とともに福井国体を迎えたいと思います。(青木・瀧波)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。



インターネット中継を実施しています

福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、YouTube(ユーチューブ)のインターネットストリーミングサービスを利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。



中継する会議

●本会議 ●各常任委員会 ●各特別委員会

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

定員97人 うち車イス席6席

常任委員会

総務・建設・教育民生・経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算・競輪事業対策

議員全員協議会

次回は
12月定例会
です

日程はホームページで
掲載中です



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506